

平成22年7月15日実施

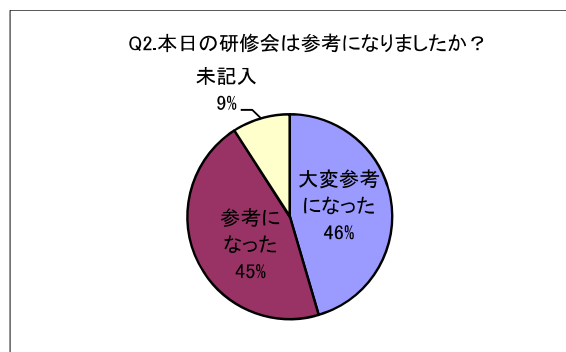
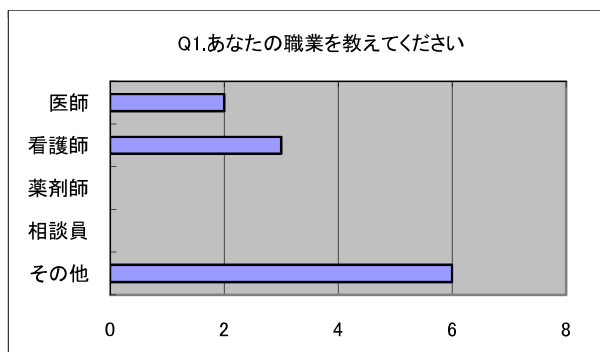
卵巣がんに関する早期診断のための研修会報告書

日 時:平成22年7月15日(木)19:00～21:00

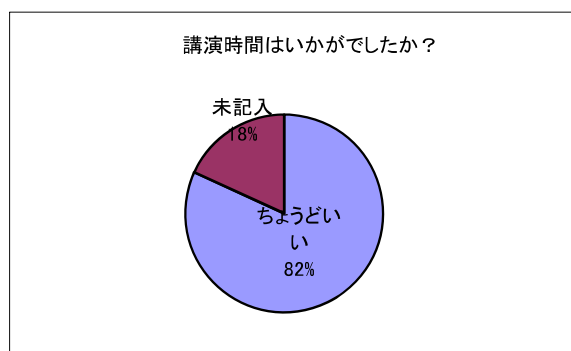
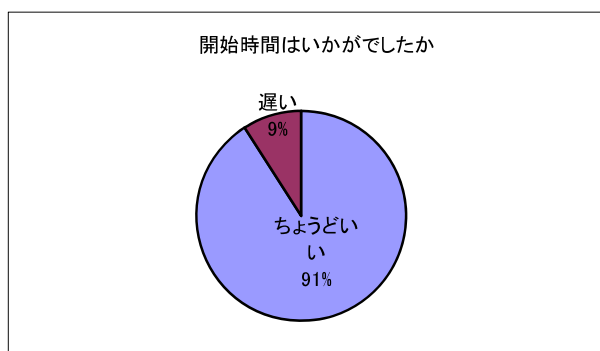
場 所:沖縄県医師会館2階 会議室1

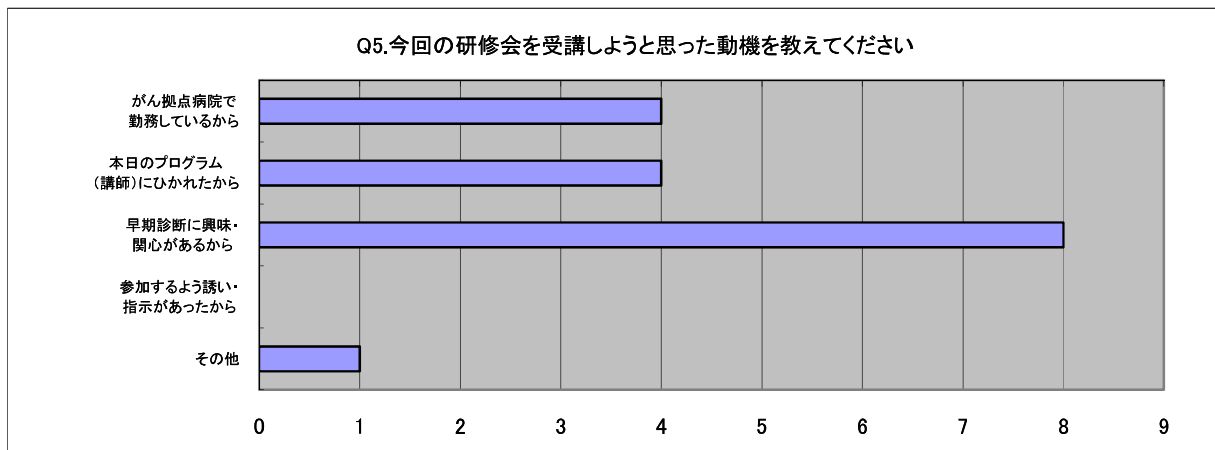
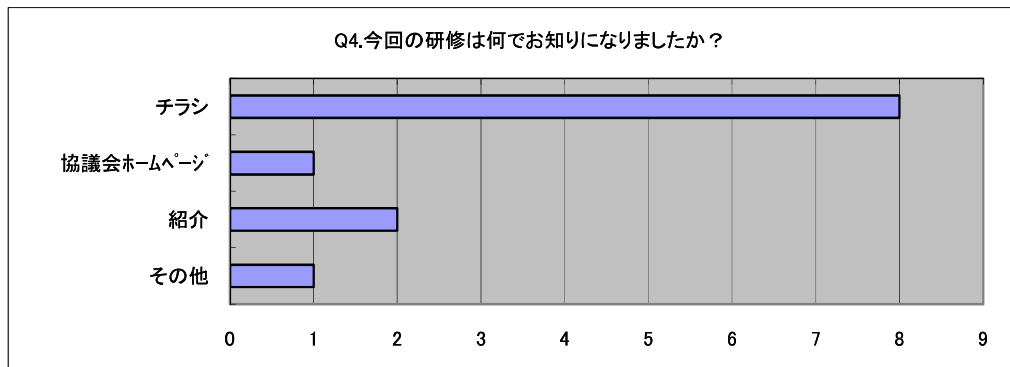
参加者:15名(アンケート回収11枚)

講演者:三浦 耕子(沖縄県立中部病院 産婦人科医長)



Q3. 講演時間はいかがでしたか？





Q6. 卵巣がん検診についてどのような感想をお持ちですか。

- ・ 医師の配慮にかかっているんだなと思った
- ・ 子宮がん検診の際に、検診施設などでは、エコーをやっていない施設も多いようですが、ぜひ、経膈エコーで子宮・卵巣のチェックを行うともっと卵巣腫瘍も見つかると思います。
- ・ 子宮内膜症からチョコレートのう腫、40代にopeし、現在54才。60才でがんになった例を聞き、今後の参考にしました。
- ・ 発見しづらい
- ・ ほとんど症状がないとの事なので、何らかの形で検診を受ける事で早期診断が必要である事を知りました。
- ・ むつかしい
- ・ 卵巣がんの早期発見は難しいことがわかった。リスクをふまえて、患者さんをみていきたい。

Q7. 今後、研修会でやってほしいテーマがあれば教えてください。

- ・ 皮膚の腫瘍について
- ・ 子宮がん(頸部・体部)について
- ・ 現在、30代、40代、また閉経後の婦人科の悩みの声をアンケートを取り、貧血や、更年期での悩みとがんへの不安についてあるとよい
- ・ 白血病

Q8. 特に他の悪性腫瘍の研修会でやってほしいテーマがあれば教えてください。

- ・ 婦人科のすべてにおいて、1つ1つテーマを出し、現在相談できない分野での心のケアか、がんになる要因も含めたものが良い
- ・ 前立腺

Q9. 本日の研修会に関するご意見ご感想をお聞かせ下さい。

- ・ がん遺伝は知られていないが、がん家族歴があるので今後、検診をしていきたいと思う。
- ・ 卵巣腫瘍の手術の実際のDVDを初めて見せていただいて良かったです。卵巣腫瘍全般についてわかり易く教えていただいて勉強になりました。
- ・ 早期診断が難しいという事についてはショックでした。この勉強を機に卵巣について勉強していきたいと思いま
- ・ いろんな職種の参加だったので、いろいろな質問だったり、意見が聞けて良かったです。